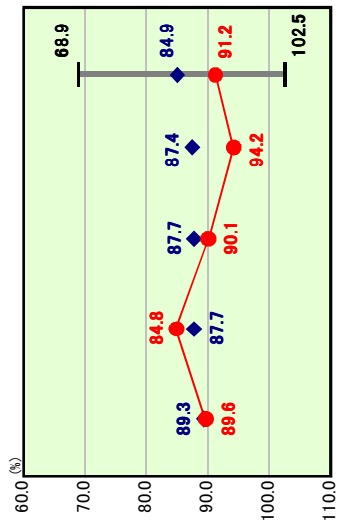


# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

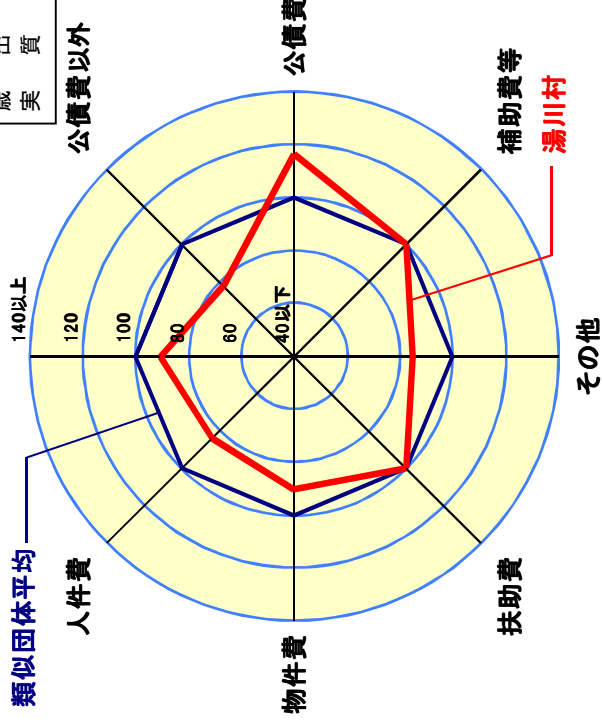
経常収支比率(合計)



H20類似団体内順位 97/129  
全国市町村平均 91.8  
福島県市町村平均 88.4

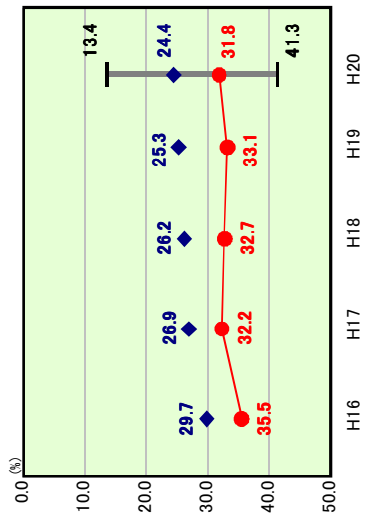
人口	3,585人(H21.3.31現在)
面積	16.36km <sup>2</sup>
標準財政規模	1,523,260千円
歳入総額	2,306,654千円
歳出総額	2,048,487千円
実収支	55,896千円

経常収支比率(合計)



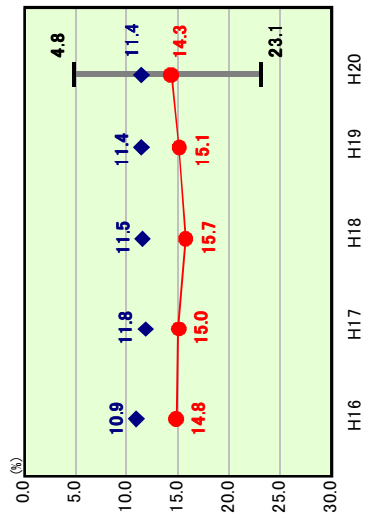
- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

人件費



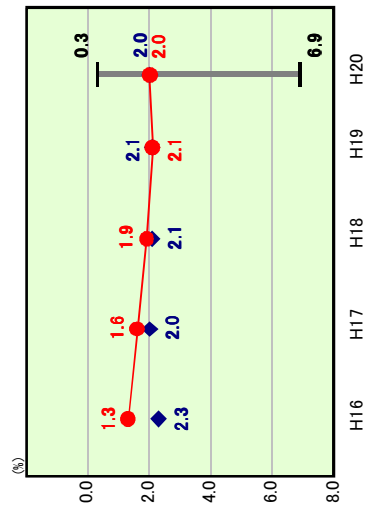
H20類似団体内順位 117/129  
全国市町村平均 27.2  
福島県市町村平均 25.6

物件費



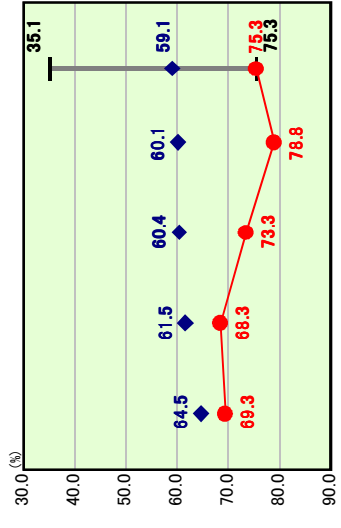
H20類似団体内順位 109/129  
全国市町村平均 13.1  
福島県市町村平均 12.9

扶助費



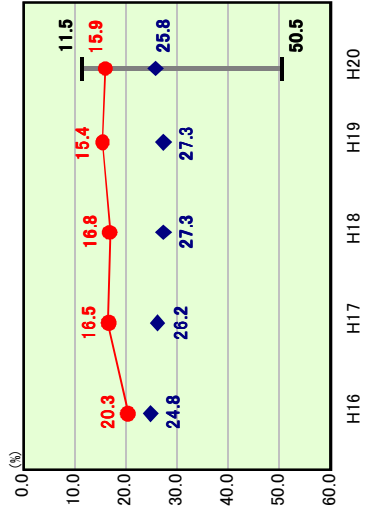
H20類似団体内順位 81/129  
全国市町村平均 9.1  
福島県市町村平均 6.4

公債費以外



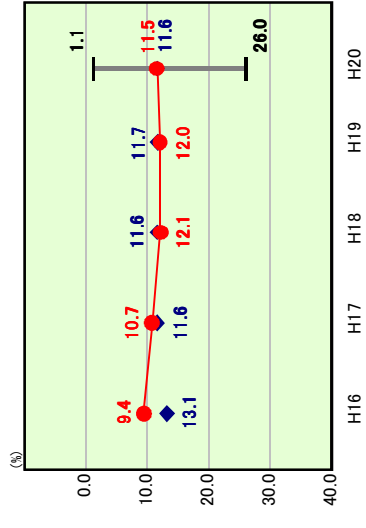
H20類似団体内順位 129/129  
全国市町村平均 71.7  
福島県市町村平均 69.0

公債費



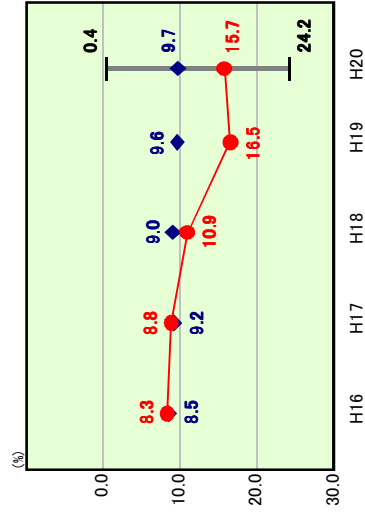
H20類似団体内順位 4/129  
全国市町村平均 20.1  
福島県市町村平均 19.4

補助費等



H20類似団体内順位 67/129  
全国市町村平均 10.6  
福島県市町村平均 11.2

その他



H20類似団体内順位 121/129  
全国市町村平均 11.7  
福島県市町村平均 12.9

## 分析欄

### ○経常収支比率

平成20年度決算では、経常収支比率が91.2%と前年度より3.0ポイント改善された。これは前年度と比較して経常一般財源が微増したこと。そして、歳出においては義務的経費(人件費1.3減、物件費0.8減、扶助費0.1減)の削減が図られたことによる。今後も物件費の抑制など一層の歳出削減を実施していく一方、人件費については、定員適正化計画に基づき将来を見据えた職員配置を進めていくため、縮減効果にはしばらく時間がかかる。

### ○人件費

類似団体と比較して人口1人当たりの決算額が全体を通して下回っている。これは従来支給していた各種特殊勤務手当の廃止や定員適正化管理計画による人員管理などを行っているためである。今後も退職者が年々増加していくため、減少していくものと思われる。

### ○公債費

類似団体平均を下回っているのは、過去において事業を実施するに当たり有利な過疎債を活用することにより、過剰な投資をしてこなかったことによる。しかし、平成20年度には統合幼稚園建設や村道踏切拡幅工事などを実施し、次年度以降は、教育関係施設の耐震補強工事が計画されている。一方、債務負担行為については、平成22年度において完了するため今後新たな債務負担行為を設定する予定は今のところない。財政の健全化を図るため、起債や債務負担行為などの将来負担についても充分に考慮し慎重に実施していく必要がある。

### ○普通建設事業費

普通建設事業費の人口1人当たりの決算額は類似団体を大幅に下回っている。これは、道路や上下水道などのインフラ整備がほぼ完了し、近年大規模建設事業がなくなってきたためであり、平成20年度には統合幼稚園の建設により若干増加した。今後は、教育関連を主として公共施設の耐震補強工事や老朽化した庁舎の建替などの工事が計画されており、より一層財政計画に基づき堅実に実施していく必要がある。